

## 挑む!

コンタクトゴンゾ主宰

塚原 悠也さん(36)

## 踊る化学反応 予測はさせない

数人の男がこびき合い、組んずほぐれつ絡み合う。けんかのように激しいが、体の動きは滑らかでクール。即興で踊っているのだ。

予測不能なパフォーマンス集団「コンタクトゴンゾ」の表現が世界の目を

引きつける。動画サイト「ユーチューブ」で知名度を上げ、ダンスや美術のフェスティバルに引っ張りだこ。今年からはオランダやドイツ、フランスで公演し、秋には瀬戸内国際芸術祭に参加する。メンバーが撮る写真や動画も評価

が高く、昨年、美術作家として大阪市の「咲くやこの花賞」を受賞した。

「コンタクト」は、他者と接触して起きる体の反応をきっかけに、即興で踊る技法「コンタクト・インプロビゼーション」から、「ゴンゾ」は「めちやくちやな」を指す俗語から取った。

「即興でないといやなんです」と言うのは、劇場の裏方をしていてダンスの約束事を知り尽くし、同じ動きの繰り返しに興味が薄れたから。「山サーフィン」と称して斜面を高速で滑り降りたり、果物を大型パチンコで自分たちの体に打ち込み、当たる瞬間の表情を撮影したりもする。

「面白いのは『事故』が起きるとき。その状況をつくり出せば、興味を引き続けられる」。周到に仕組まれた偶然が、ダンスの明日を更新する。

文・写真 安部美香子



京都市生まれ。関西学院大学在学中に舞踏家の土方巽（ひじかた・たつみ）を知り、ダンスに開眼。2006年に垣尾優さんと「コンタクトゴンゾ」を結成。

記者から

一見こわもてだが語り口は静かで知的。ダンス界の現状を見通す冷静さと熱さが同居している。